



2023年10月20日

各位

会社名 monoAI technology 株式会社
(東証グロース・コード 5240)
代表者名 代表取締役社長 本城 嘉太郎
問合せ先 取締役 コーポレート部長 美濃 裕司
電話番号 03-6273-2753 (代表)

**業績予想の修正及び法人税等調整額の計上、
並びに役員報酬の減額に関するお知らせ**

当社は、2023年10月20日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月14日に開示しました2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の業績予想を修正するとともに、法人税等調整額を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

また、この度の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2023年12月期の業績予想値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益又は営業損失 (△)	経常利益又は経常損失 (△)	親会社株主に 帰属する当期 純利益又は親 会社株主に帰 属する当期純 損失 (△)	1株当たり 当期純利益 又は当期純 損失 (△)
前回発表予想 (A)	百万円 1,886	百万円 100	百万円 102	百万円 98	円 銭 9.91
今回発表予想 (B)	1,271	△154	△149	△185	△18.12
増減額 (B-A)	△614	△255	△252	△284	-

増減率（％）	△32.5	-	-	-	-
（参考）前期実績 （2022年12月期）	1,451	70	56	71	8.22

（２）修正の理由

（売上高）

売上高につきましては、以下に記載の直近の業績動向を勘案し、当第４四半期の売上見通しを精査した結果、メタバースサービスにおいて前回予想 1,349 百万円→651 百万円、XR イベントサービスにおいて前回予想 350 百万円→312 百万円、とそれぞれ引き下げ、一方で XR 周辺サービスにおいて前回予想 185 百万円→330 百万円と引き上げました。その結果、売上高は前回予想から 614 百万円引き下げ、1,271 百万円の見通しとなりました。

①メタバースサービス

メタバースサービスについては、前回予想では主要取引先からの売上に加え、新規パイプライン獲得による売上の拡大を見込んでおりましたが、主要取引先からの大幅な売上高減少（パルス：前期実績 418 百万円→当期予想 278 百万円、阪急阪神マーケティングソリューションズ：前期実績 305 百万円→当期予想 68 百万円）及び新規パイプラインの受注規模が予想を下回るなどの理由により、第２四半期時点で大幅な減収となりました。挽回すべく第３四半期、第４四半期でのさらなるパイプラインの獲得に向け努力しておりますが、当期中の獲得が困難となりました。

②XR イベントサービス

XR イベントサービスにつきましては、イベント実施数の増加など前年度に比べ大きく成長は出来ているものの、前年度と同水準の売上高成長までには至らず、業績予想を引き下げました。

③XR 周辺サービス

XR 周辺サービスにつきましては、子会社２社の進捗率は概ね予想通りであり、また、QA サービスを再開したほか、ドローンや AI ロボティクス事業を手掛けるロボアプリケーションズ株式会社を買収するなど、前期から大きく成長しております。

（営業利益）

当初計画では売上成長率 30%を前提としたコスト構造を想定しておりましたが、既存案件や新規パイプラインなどを想定したエンジニア等の採用コストが発生せず、業績予想に比べ販管費は減少しております。しかしながら当社の費用の多くが人件費を主体とした固定費であり、売上高の減少がほぼ粗利の減少に直結しております。その結果、前回予想から 254 百万円引き下げ、△154 百万円の見通しとなりました。

(経常利益)

前述の営業利益の減少の結果、前回予想から 252 百万円引き下げ、△149 百万円の見通しとなりました。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

前述の営業利益・経常利益の減少に加え、前期末に計上した繰延税金資産の回収可能性に疑義が生じたため、当第3四半期連結会計期間において全額を取崩す予定です。その結果、法人税等調整額を 25 百万円計上し、前回予想から 283 百万円引き下げ、△185 百万円の見通しとなりました。

2. 今後の方針

(1) 各サービスにおける今後の施策

①メタバースサービス

従来の「XR CLOUD」に限定したメタバース OEM 提供サービスに加え、当社の技術力を活かした XR 業界全般のソリューション提供サービスを進めてまいります。また、大型案件だけでなく、中型小型案件の獲得を増やすことにより、現在の特定顧客への売上依存度を減少させてまいります。

②XR イベントサービス

前期に引き続き高成長を続けておりますが、今後も XR 技術開発等によるアップデートの継続や各領域に合った独自のメタバースプラットフォームを展開してまいります。

③XR 周辺サービス

現時点で具体的に決定した案件はございませんが、今後も先端技術を事業とする会社の M&A を実施してまいります。また、グループ間でシナジー拡大を含めた社内リソースの見直しを進めてまいります。

(2) 役員報酬の減額

このたびの 2023 年 12 月期通期連結業績予想の修正により大幅な損失を計上する見込みとなったことを真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下の通り役員報酬を減額いたします。

①役員報酬減額の内容

代表取締役社長：報酬月額額の 30%を返上

取締役（社外取締役を除く）：報酬月額額の 15%を返上

②対象期間 2023 年 10 月より 2023 年 12 月まで（3 ヶ月間）

業績予想修正の詳細につきましては、2023 年 11 月 10 日に開示を予定しております「2023 年 12 月期第 3 四半期 決算説明資料」も併せてご参照ください。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上